

# ほんべつ 議会だより

No.58

平成23年8月1日発行



## じょうずにつれたネ!!

7月8日 仙美里保育所 お店やさんごっこ

# 第2回定例会

## 平成23年度一般会計他2会計の補正予算等を可決

平成23年第2回定例会は6月7日に開会し、一般質問のほか一般会計他2会計の補正予算、本別町税条例の一部改正を審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

### 一般会計補正

#### 中央公民館前ロードヒーティング

**問** ①調査設計委託料の120万円は、どのような内訳なのか。

②工事費本体480万円に対し設計委託料120万円は多く感じるが圧縮できないか。

**答** ①熱効率の良い電気配線の測量、図面作成や舗装はがし、部材の選定等です。

②ロードヒーティングの場合、非常に特殊で、北海道で定められた単価で計算した設計料となっています。

多岐に渡る調査や設計については、設計料が割高になります。



ロードヒーティング予定の中央公民館

#### 介護予防拠点施設改修工事

**問** 町内8ヶ所の集会所等ですが、改修工事によつてバリアフリー化が進むのか。

**答** バリアフリー化が今回の改修工事以前よりも進むと考えています。



改修工事される新町集会所

**問** 介護予防だけでなく、全体的に、高齢者や障がいを持つ方々にも使いやすい改修となるのか。

**答** バリアフリー化含めて地域の方々により使いやすい施設にしていきます。

#### 定住自立圏の形成に関する協定の締結

**問** 本町の独自の政策がある場合、連携する取り組み及び役割分担の19項目に触れる時には、帯広市の考え方が優先していくのか。

**答** また、補助金ありきの協定であつてはならないと思つが、

帯広市に追従ではなく本町にメリットのある項目を進めていきます。また、補助金ありきということではありません。

平成23年8月4日に任期満了となる  
固定資産評価審査委員会委員に

**土蔵啓一氏** (北5丁目)

の再任に同意しました。

平成23年8月3日に  
任期満了となる監査委員に

**畑山一洋氏** (北6丁目)

の再任に同意しました。

## 平成23年度 各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主 な 内 容
一 般 会 計	(1億2,294万1千円) 64億6,294万4千円	東日本大震災における支援対策費 林野火災対策背負式散水装置 (臨時会補正予算)  生活維持路線運行業務委託料 介護基盤緊急整備等特別対策事業 老人福祉センター、ふれあい交流館改修 中央公民館玄関前ロードヒーティング 勇足、仙美里地区公民館施設改修工事 (定例会補正予算)
特 別 会 計	(241万円) 7億368万8千円	介護予防実態調査分析支援事業 通所型介護予防事業口腔機能向上事業
特 別 会 計	(123万2千円) 4億8,956万2千円	汚泥運搬処理業務委託料 電気マッフル炉更新

※第2回臨時会補正予算含む

平成23年7月19  
日に任期満了となる  
議会推薦の農業委員  
会委員に

山西二三夫議員

の再任に同意しました。

### 第2回臨時会

開催日 4月18日

### 一般会計補正

### 東日本大震災支援対策費

#### 問

①一般民家の空き家の提供の申し込みがあったと聞いているが、現状は。またどういうスケジュールで行うのか。

②派遣職員の選抜方法は。障、安全保障は、当然本町が持つと思うのだが、その点を確認したい。  
③派遣される職員の身分保障、安全保障は、当然本町が持つと思うのだが、その点を確認したい。  
④南三陸町の今の支援は、どちらかというと行政中心だが、将来的に民間の支援というのも考えられるのか。  
⑤町長本人が南三陸町へ出て向いて激励し、支援対策の把握をしようか。

#### 答

①一企業の社員寮で一棟9室の提供の申し込みがあります。個人につきましては何件かありました。本人からご辞退の申し出があったところでは。

②5月以降は2名体制で予算は計上してはいますが、流動的に対応していきたいと考えています。

選抜はリーダーを置きながら、対策会議のなかで協議をし、課長、職員にお願いをしていくという形で考えています。

③今、2週間ごとで短期です。出張命令扱いで行っています。ですから身分は本別町と全く同じです。

④民間の支援は今、物資を中心にお願いをしています。

子供等に対する支援、生活支援など内容によつては、町民への協力をお願いする可能性も出てくると思っております。

⑤現地状況を確認し、少し落ち着いてからと思っております。(6月2日に現地入りしました)

### 議会用語の解説

#### 《全員協議会》

全員協議会は、議会における事実上の会議として開催されていたが平成20年の法改正で会議規則のさだめるところにより、「議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場」として法律上明確に位置づけられることとなった。

町長による事前説明及び意見の聴取、町長が議会に提案予定の案件についての事前説明を行う場合もあれば、行財政運営上重要問題、対外折衝関連事項等についての意見を求める場合もある。

また、議会独自の協議又は意見調整、議会自体の行事や運営、活動について協議したり、意見調整をするため全員協議会が開かれる場合もある。

全員協議会の傍聴については、委員会と同様に考えられ、議長が判断することになる。

### 第2回臨時会



プレハブの南三陸町教育委員会

# 一般質問

4名の議員から8問

## 行政

行政改革について今後の考え方は

答 第4次の行政改革の中で、見直します



大住啓一議員

**大住議員** 行政改革は町民皆さんの生活に大きな影響があると考えますが、これからの進め方について伺います。

① 昨年9月に質問した大きな課をどの様にするのか又、遊休地の有効的な活用についての経過と考え方は。

② 自治会に対する補助金を上積みし、会の親睦を図るべきと思います考え方は。

③ 本別公園内にある義経の里パークゴルフ場の料金は廃止する方向で進めるべきと思いますが考え方は。



義経の里パークゴルフ場

**高橋町長** ① 大きな課の対応は、あり方を含めて、どこをどう分離し効率的に行なうか進めています。又、Aコープ付近の土地は、いつでも協議できる体制をとっています。

② 自治会の皆さんには、協力いただいていることから、第4次行政改革に向け方向性を示していきます。

③ 料金につきましては、次回見直しに備え、他の施設等を総合的に分析して対応します。

震災被災地への継続的な支援策をどう進めるか  
答 風化させずに息の長い取り組みをしていきたい



阿保静夫議員

**阿保議員** 今回の東日本大震災への支援の取り組みは、町をあげて進めてきました。自治会等が取り組んだ募金は1千万円を超え、また、南三陸町への職員派遣も数回に及んでいます。今後、継続的に息の長い支援を行なうことが最も重要であり町民の皆さんも期待するところです。

今後の支援についてどのように考えているか伺います。

また、震災の影響が町の予算、事業計画に出てきているとのことですが見解を伺います。

**高橋町長** 基本的な考え方は一切変わっていません。

南三陸町で取り組んでいる「復興市」への支援、9月末まで職員の派遣、現在1人の被



本別・南三陸ふるさと交流研修会（カッターボート 漕艇）

災者受け入れ、複数回の子どもたちの受け入れ・交流など柔軟に、長期に向けて対応していく考えです。またオール十勝での支援も進めます。

国は事業費の5%を復興財源に充てるとしていることから、本町の事業も影響を受けますが、事業だけは確保したいと考えます。



# 福祉



# 暮らし

## 介護保険法改定の影響は

**答** 利用者には不便を与えないよう全力を尽くします

**阿保議員** 審議中の介護保険法改定案では「総合事業」を創設し、要支援1・2の人などを対象にサービスや利用料も市町村任せにするという内容です。

本町では要支援1・2の者が合わせて137人（平成22年10月末）ですが、従来の介護サービスを行うか総合事業を行うかの選択は自治体の判断ということですが、利用者が必要とするサービスが制約されたり、本人の希望に添いかねる等の心配があります。現時点での見解を伺います。

**高橋町長** まだ法案が制度化されてはいない状況ですが、総合事業を設けその権限を市町村に委ねるという内容であり、地方分権の趣旨からもあり得るものと考えます。

総合事業導入については、利用者に不利益が生じることの無いように慎重に検討します。また、健康長寿まちづくり会議や町民説明会での意見を踏まえて制度導入の際には判断していきます。

## 大災害に対する考え方について

**答** 防災計画は、避難経路、避難場所も含め、来年度見直します

**大住議員** 本年3月11日に、東北地方で発生した地震は、未曾有の大震災です。本町において大災害が発生した場合の対応等、考え方を伺います。

①大雨となった時の仙美里ダム、活込ダムに対する考え方は。  
②土砂災害警戒区域等の指定については、町長の意見を求められているとのことですが考え方は。

③町の地域防災計画は、避難経路、避難場所やハザードマップの修正を含め、抜本的な見直しが必要と思いますが考え方は。



避難経路になっている本別大橋

### ものごとく博士から



### ハザードマップとは

自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難経路、避難場所などの情報が既存の地図上に図示される。

**高橋町長** ①ダムの管理については、常時巡回をし状況を把握しています。両ダムとも、設置時から国の基準をクリアしているため大丈夫と電源開発等から見解が示されています。

②現在まで3回の意見聴取も行っていきます。これからは、該当する地域の方々から直接意見をいただき町として意見をまとめます。

③避難経路や、民間施設の利用、また、情報の提供として、同報無線放送等を見直します。



デイサービス（みんなで真剣にカルタとり）

ものしり博士から

### 3次医療圏とは

最先端、高度な技術を提供する特殊な医療を行う医療圏で、都道府県の区域を単位として設定されている。北海道は6圏域が定められている。(道南、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室)



## 救急の患者さんの搬送について

**答** 病院の内部でも協議をします。妊婦の場合は柔軟に対応しています

**大住議員** 救急車の出動は突発事故など一分一秒が大切な出動となります。患者さん御家族の意向をくみ、**3次医療圏**の帯広市内の病院へ直接搬送すべきと考えます。

現在は、町国保病院に寄つてからの搬送となっている様ですが、近年は救急車に救急

救命士が同乗すること、また搬送先病院とのやりとりは通信技術などの向上により、リアルに対処できることから、御家族の心情をくみ、帯広市内の病院へ直接搬送することを考えてみても良いのではと思いますが、考え方を伺います。

**高橋町長** 救急の患者さんは、できるだけ早く医師に診察してもらおうのは当然のことだと思いますが、基本的には本町の国保病院も救急の告知病院であることから国保病院にまずは搬送することとし、しつかりと処置をしてから、帯広へ搬送することとなっています。

一つの事例として、妊婦の場合、柔軟に対応した事もあります。あくまでも医師の判断での対応ですが、病院の内部でも協議をしていきます。

## 自主防災組織の強化・拡大を

**答** 育成・強化に向け取り組んでいきます



高橋利勝議員

**高橋議員** 今回の東日本大震災では、防災体制の中心となる行政、警察、消防が一時的に全く麻痺してしまいう箇所が何力所か起こりました。改めて自治会などによる自主防災組織の役割が大変重要と感じ以下伺います。

- ①住民課、保健福祉課、社会福祉協議会より自治会に提起されている取り組みを一体化し、統一する考えはないか。
- ②自主防災組織が組織化されているところでは適宜な更新を図るシステムづくりが必要では。
- ③自主防災組織の必要性を知ってもらうためリーダ研修などを実施し人材を育成してはどうか。



栄町自主防災訓練

**高橋町長** ①すでに住民課と総合ケアセンターで自主防災組織検討委員会を設置しています。今後は社会福祉協議会とも一体となった取り組みを進めます。

②今回の大震災を機に見直しを進めている自治会が増えています。

③今後年一回程度、自治会、関係機関及び関係団体を対象に防災の研修会などを進めていきます。



待機している救急車

バリアフリー化とは

バリアフリーとは一般的には障がい者が利用する上での障壁が取り除かれた状態をいい、バリアフリー化については以下のとおり。

- 物理的なバリアフリー化  
施設面（特に公共施設）では、車椅子利用者向けとして、段差の解消等、視覚障がい者向けとしては、点字の併記等、オストメイト向けとしてはオストメイト対応トイレ等がある。
- その他  
コミュニケーションのバリアフリー化、人にやさしいまちづくり事業等がある。



中央公民館・体育館・図書館のバリアフリー化の推進を

答 バリアフリー化について、さらに計画的に研究・検討していきます

高橋議員 彼の公共施設のバリアフリー化が進むにつれて中央公民館、体育館、図書館のバリアフリー化の遅れが際だっていると思います。

今後、バリアフリー化の推進計画を立てて進めるべきと思うが。中でも中央公民館のエレベーター、体育館トイレ、図書館の自動ドアなどの整備を望む声がありますが、どのように考えているのか。

中野教育長 中央公民館、体育館、図書館のバリアフリー化は、これまでも進めていますが、総合的な計画の中で逐次整備を進めていきたいと考えています。

また、中央公民館のエレベーター設置については、専門業者に相談しましたが、非常に難しいとの判断をいただいています。

体育館に多目的トイレ等を



自動ドアが設置されている中央公民館玄関

整備するといったしますと広いスペースが必要となりますため、新たな場所なども含めまして検討していきます。図書館の自動ドアの設置も含め、バリアフリー化について、さらに計画的に研究・検討していきます。

平成15年度台風10号の被害箇所の現状と今後の対応は

答 各事業で取り入れ、復旧対応は早目、早目に



戸田 徹議員

戸田議員 平成15年8月9日（10日のゲリラ的降雨により町内全域で大きな被害があり、あれから8年後の被害箇所の現状について伺います。

①美蘭別、前田地先の沢水が道道居辺・本別線の山側の沢から流木と大雨により住宅近くまで流れ込みました。美里別西上、荒木、佐藤地先のペンケ活込川の土流から土砂が流れ込みました。

また、南2、岡崎組地先の柏木川よりの雨が流れ込みました。

拓農、高長根地先の明渠排水があふれ、水が流れ込みました。

美里別、東上幸栄橋のサルカニ川からあふれた流水により橋のたもとが

洗掘しました。

②被害の多くが横断管に土砂と流木が詰り水があふれるという状況があつたが対策は。

③非常時の人々の避難対策と2次災害防止策は。

高橋町長 ①については北海道による復旧治山事業、15年度公共土木災害復旧事業等で復旧させていただきました。

②③は上流の明渠との全部の改修等で、非常時は道路の状況把握と早目早目の避難対策をします。



復旧した災害現場（美里別西上道路）

## 意見書

第2回定例会では4件の意見書が提出され原案可決されました。可決された意見書については内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。意見書の要旨、発言内容は次のとおりです。

## 【要旨掲載】

## 住民の安全・安心な暮らしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書

一、震災復興と被災地対策をはじめ、住民の安全・安心な交通運輸を支える行政は、国が責任を持つて直接実施すること。

二、住民のための交通運輸行政を確立するために、国の出先機関である地方運輸局を充実することを要望します。

提出者 黒山久男



## 北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書

非正規労働者の増大に伴う低賃金層の増加に対して、賃金の最低限を保証する最低賃金制度の役割は大きくなつてきています。地域経済の維持と所得税収の確保など、北海道地域最低賃金の改定は、働く者が自立可能な水準への改定を求めます。

提出者 黒山久男



## 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現を目指す教職員定数改善、就学保障充実など2012年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率を二分の一に復元することを求めることも、「30人以下学級」の早期実現と教職員定数の改善を充実を図るため2012年度教育予算の確保、充実を求めます。

提出者 高橋利勝



## 地方財政の充実・強化を求める意見書

東日本大震災の復興にあたっては被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう求めるものです。2012年度の予算においても、2011年度と同規模の地方交付税の確保を求めます。

提出者 高橋利勝



## 町民懇談会質疑

2月の町民懇談会で出された質疑は、速報版で2回にわたりお知らせしましたが、議会関係の未掲載分についてをお答えします。

**問** 議会だよりの保存用ファイルを議会として配布していただけるものなのか。

**答** 平成9年に発行していますが、町民の方々からの要望並びに経費等を協議した結果、保存ファイルの発行は行わないこととなります。

**問** 視察研修後に提出している皆さんの生のレポートをホームページに掲載していただきたい。

**答** 各議員から提出されたレポートをまとめ、視察研修報告としてホームページ（議会だより）へ掲載しています。

# 行政報告

4月18日第2回臨時会、6月7日第2回定例会において、町長から行政報告がありました。(抜粋)

## 第2回臨時会

### 東日本大震災における支援対策について

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、ジュニアリーダー・中高生の相互交流が続いている宮城県南三陸町も甚大な被害を受けました。

直ちに課長等会議を開催、その後「本別町東日本大震災支援対策会議」を設置し、南三陸町を中心に支援することを確認しました。

3月20日、支援物資として米・生活用品など(4トントラック1台、乗用車1台)を職員5名が町長、議長の親書とともに届け、4月5日に帰町報告会を中央公民館で開催しました。  
また、民間企業においても、17日に町民から提供された

毛布・防寒服をバス1台で搬送していただきました。

4月8〜9日には、建設業協会のボランティアの手伝いをいただき、受入件数200件を超える数多くの物資の提供を町民の皆様からいただきました。

4月14日現在、義援金額は、自治会連合会の取り扱い他 7,816,190円で当分の間、義援金箱の設置などを行う予定です。南三陸町は壊滅状態となっており、役場機能が果たされていないため、必要に応じて継続した職員の派遣を予定しています。

## 第2回定例会

### 22年度決算見込み

一般会計の決算見込みは、歳入84億3,562万4千円で、歳出が82億4,320万7千円となる見込みです。

国民健康保険など6特別会計を合せた歳入決算見込み総額は29億6,723万円で、歳出は29億8,808

万6千円となる見込みです。

病院事業会計の決算見込みは、収入が13億1,783万6千円、支出が14億3,176万1千円となる見込みで、平成22年度末の未処理欠損金は14億8,112万4千円となる見込みです。

### 町税等の収納決算見込み

22年度分普通税(町民税、固定資産税、たばこ税など)の収納済額は約9億7,143万円で、98.6%の収納率、前年度比0.1ポイント減。国保税は約3億1,438万円で前年度比0.1ポイントの減となりました。

### 本別・浦幌間の公共交通の見直しについて



運行されるマイクロバス

現在、本別・浦幌間を運行している、十勝バス「留

真線」と本別町・浦幌町共同による「本別・浦幌生活維持路線」は、「留真線」

が浦幌本町までつながっていないことや、利用者にとって不便であるため、昨年より両町で見直しについて協議を重ねてきました。

5月16日には「本別町・浦幌町地域公共交通会議」を開催し、現在の留真線を廃止し、7月1日から新たな本別・浦幌生活維持路線を両町で運行することが決定し、道路運送法の許可を受けた委託業者がJR浦幌駅・本別町立病院間を1日4便、予約制で運行することになりました。

この見直しにより、乗り換えをしないで、浦幌本町から本別町まで利用することができま

す。

### 東日本大震災における支援対策について

東日本大震災から3カ月近く経過し、義援金は、6月7日現在、本別町自治会連合会取扱いが、72件で4,454,405円、募金箱などの南三陸町への義



南三陸町でガンバっている職員(中央)

援金は、4,572,751円、日本赤十字社本別区分の取扱いが5件で、1,077,797円、合計では、10,104,953円となっています。

職員派遣については、4月6日から実施し、現在は2名体制の2週間交替で、9月29日までを予定しています。

被災者の受入れにつきま

しては、現在1名の方が、避難をされており、公営住宅への入居に向けて改修等を進めています。  
中高生の「本別町・南三陸町ふるさと交流研修事業」の取り組みについては、交流の継続が危ぶまれる状況でしたが、8月4日から12日までの日程で20名の受け入れを行います。

# 委員会議事報告

## 総務

### 常任委員会

調査日／平成23年5月31日

#### ○図書館及び資料館の運営について

##### 1 図書館の運営、概要

年18,600人ほどの利用者です。図書館システムの導入によって①日常の貸出業務②蔵書管理や利用者相談、リクエストに 대응すること③他の図書館との連携④利用者端末による情報公開で児童生徒の利用拡大⑤データベースとしても郷土資料（義経伝説、アイヌ資料、管内資料など）の蓄積保存などの点で業務内容が充実・前進しました。

##### 2 身近な図書館に

図書の選定、購入などにおいては、利用者や町民の意見を聞く工夫（意見箱の設置、図書選定委員会のよな会議等の再設置など）の検討をしていただきたい。



図書館システムの説明を受ける委員

##### 3 資料館の運営、概要

町民から提供された歴史的な資料などをデータベース化して蓄積しています。収蔵庫は温度、湿度、ほこりやカビ等に注意し100年前の資料等も保存されています。

常設展示、企画展、特別展を実施しています。入館者は年間約2,500人です。また、大谷短大の研究者と連携し「昔遊びセット」

などを貸し出し、回想法（認知症予防）の体験資料として使用しています。（貸出しも可）

##### 4 本別の歴史学が貴重な施設

企画展・特別展は重要な役割を果たしています。冬期間の運営が課題です。

## 産業厚生

### 常任委員会

調査日／平成23年4月21日

#### ○町道の舗装及び補修状況について

##### (1) 町道の舗装

道路の（舗装）整備状況は、240.04kmで、舗装率は52.2%です。

##### (2) 補修個所の把握方法

①担当職員による出勤時のパトロールを含めた路面状況調査

##### (2) 町民の方による電話連絡

##### (3) 役場全職員から情報提供

(3) 過去（3カ年）の補修状況については、道路構造の保持、雨水処理など車両走

行安定を図るため、町単独予算で毎年約300万円の補修工事を行っています。21年は国の臨時交付金により7,600万円の補修を実施。

##### まとめ

道路状況を見ると、かなり舗装がいたみスムーズな車の運行ができず事故に結びつく状況も考えられます。

年間300万円程度の補修工事では十分でなく、全面的な改修工事を計画的に単独予算で取り組む必要があります。

#### ○橋梁長寿命化計画について

・橋りょう及び河川橋りょう数

町内にある全ての橋（161橋）の老朽化等を調査し、その結果にもとづき平成24年度に橋梁寿命化修繕計画を策定、平成26年より実施します。

##### まとめ

30年以上経過した橋が多く、大型農機具の通行不能、



橋の構造の説明を受ける委員

橋が落ちる等の事故にならないよう、長寿命化計画の中で網羅し検討することが必要です。

## 議会についてのご意見を寄せください

「ほんべつ議会だより」を見て議会に対する意見やご希望などどんな事でも結構です。どうぞ議会事務局までご連絡ください。

TEL 22-8123 / FAX 22-2147

## 写真で見る議員活動

### 町民植樹祭



5月17日、緑豊かな、ゆとりのあるまちづくりと、町民はもとより広く多くの人々に親しまれる山づくりを目的に、「ニトリ北海道応援基金」の支援を受け開催した町民植樹祭に参加しました。

### 環境整備に汗



5月17日、本別温泉グランドホテル前道路のゴミ拾いを2時間程度行い、2tトラック1台分のゴミが集まりました。

### 議員研修会に参加



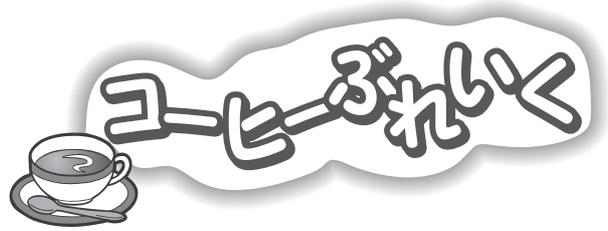
7月5日、札幌市において町村議会議員研修会が開催され、全道各町村から約1,864人が集まり、本町からも11人の議員が参加しました。

東京大学先端科学技術研究センターの御厨貴<sup>みくりや</sup>氏、経済評論家の内橋克人氏の講演を聞き、議会活動への研鑽を深めました。

### 小松島市議会視察研修来町



6月27日に小松島市議会市民クラブの議員7名が来町され、「今後の交流事業のあり方について」、「農業後継者育成について」（農業大  
学校視察）、「ファイリングシステムについて」2日間に渡り研修されました。



## 防災無線の設置を 全戸にと思えます

新町 木村 功さん

元消防職員であったことから東日本大震災後の防災体制に興味があり、奥様を誘って傍聴に来られた新町の木村功さんにお話を伺いました。尚、議会への傍聴は一昨年のナイター議会依頼2回目とのことでした。さっそく防災体制についてお伺いしたところ、「東日本大震災を機に防災無線を全戸に設置できないかと思っています」「町長の答弁では防災体制を見直すとのことですが、本町には上流に大きなダムがあり、私は新町に住んでいることから大きな問題とと思っています。避難する時に全戸に防災無線があれば放送で対処できるのではと感じました」と強調されました。

また、まちづくりについてお伺いしますと、「道の駅前のロータリー何とかならないのでしょうか。他の道の駅を訪れてみるとつくづく感じます」とのことです。

最後に議会についてのご意見をお伺いしたところ「傍聴される方が少ないですね」また「東日本大震災後の議会ですのでもっとたくさんの方が一般質問されると思っています。もう少し頑張ってください」とのことでした。

木村さんは、消防職員退職後長年にわたって病院への循環バスの運転をされていますが、今はパークゴルフを楽しみ、盆踊りの太鼓打ちに活躍されています。

### 次の定例会は

# 9月6日から予定しています

私たちの住むまちの議会です  
どなたも自由に傍聴できます  
あなたも傍聴してみませんか

## 議会日誌

27	21	19	18	15	14	10	9	7	6	3	31	27	23	18	17	21	19	14	11
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
議 員 協 議 会																			
小松島市議会視察来町																			